



2025年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 AIメカテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6227 URL <https://www.ai-mech.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役 執行役員社長 (氏名)阿部 猪佐雄
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画部長 (氏名)米田 達也 (TEL) 0297-62-9111
 定時株主総会開催予定日 2025年9月26日 配当支払開始予定日 2025年9月27日
 有価証券報告書提出予定日 2025年9月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期の連結業績(2024年7月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	21,005	36.2	2,095	701.8	1,884	—	337	202.3
2024年6月期	15,421	△0.3	261	△55.0	162	△65.4	111	△90.6
(注) 包括利益	2025年6月期		188百万円(△45.9%)		2024年6月期		348百万円(△70.8%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	54.62	54.20	3.1	7.5	10.0
2024年6月期	19.40	19.11	1.1	0.7	1.7

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2025年6月期	27,373	10,861	39.7	1,753.97	
2024年6月期	22,774	10,955	48.1	1,765.56	
(参考) 自己資本	2025年6月期		10,859百万円	2024年6月期	10,953百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	1,526	△2,482	1,774	3,647
2024年6月期	△1,131	△889	2,130	2,873

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00	279	232.0	2.7
2025年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00	278	82.4	2.6
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		19.6	

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	25,010	19.1	2,509	19.7	2,275	20.7	1,583	368.7	255.67

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年6月期	6,283,000株	2024年6月期	6,213,000株
2025年6月期	91,543株	2024年6月期	9,142株
2025年6月期	6,183,395株	2024年6月期	5,759,580株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(参考) 個別業績の概要

2025年6月期の個別業績 (2024年7月1日~2025年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	20,991	36.1	2,096	681.3	1,903	—	354	196.0
2024年6月期	15,423	△0.1	268	△56.7	170	△66.6	119	△89.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期	57.32	56.88
2024年6月期	20.79	20.48

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	27,092	10,421	38.5	1,682.98
2024年6月期	22,372	10,350	46.3	1,667.97

(参考) 自己資本 2025年6月期 10,420百万円 2024年6月期 10,347百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	12
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	12
(会計方針の変更に関する注記)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①当連結会計年度の事業環境について

当連結会計年度における世界経済は、個人消費が堅調な米国を中心に総じてプラス成長を維持しましたが、米国外交・通商政策動向、中国の不動産市場の停滞継続、ウクライナや中東における紛争長期化による地政学リスクの高まり等により、先行きへの不透明感が強まりました。国内経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや堅調な設備投資など、内需を中心に緩やかな回復傾向が続きました。

当社グループの事業環境について、半導体業界において、最終需要の低迷によりIT機器や汎用サーバー向け半導体投資需要は停滞する一方、AI用先端半導体向け投資需要は引き続き堅調に推移しました。フラットパネルディスプレイ(FPD)業界では、全般的に投資需要が低迷する中、AR/VR用マイクロディスプレイ向け投資再開や、LCD向け設備投資に底入れの動きも見受けられました。

このような環境下、当社は、AI用先端半導体パッケージ向け装置の開発・拡販、(株)オプトランとの資本業務提携など、更なる事業拡大への取り組みを強化いたしました。

②当連結会計年度の業績について

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の受注金額は26,946百万円(前年度比78.6%増)、受注残高は26,193百万円(前年度比29.4%増)となりました。

当社グループの当連結会計年度の連結業績は、売上高は21,005百万円(前年度比36.2%増)、営業利益は2,095百万円(前年度比701.8%増)、経常利益は1,884百万円(前年度比1,059.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は337百万円(前年度比202.3%増)となりました。

③セグメントの業績について

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

(IJPソリューション事業)

マイクロディスプレイ向け一括封止ラインについて、AR/VRグラス等の最終アプリケーション市場動向の見極めが進む中、顧客により投資需要に跛行性が窺われ、出荷の翌期以降へのずれ込みが見られた一方、投資再開に伴う新規受注の獲得もありました。今後は、引き合いが続くマイクロディスプレイ向け需要を確り捕捉することに加え、タブレット等の反射防止パターン形成システムなど、合弁会社を通じたナノインプリントリソグラフィ事業の立ち上げに引き続き注力し、受注・売上の積み上げを図ってまいります。

このような状況のもと、当セグメントの当連結会計年度の売上高は573百万円(前年度比70.5%減)、セグメント損失は222百万円(前年度は155百万円の利益)となりました。

(半導体関連事業)

はんだボールマウンタについて、IT機器・汎用サーバー用半導体の投資低迷を受け、受注・出荷の翌期以降へのずれ込みが顕在化したものの、AIサーバー用などの先端半導体パッケージ向けウエハハンドリングシステムが牽引し、出荷・受注とも順調に推移しました。今後は、活発な引き合いが続くウエハハンドリングシステムの追加需要の着実な捕捉に加え、更なる事業成長の鍵となる、パネルレベルパッケージ(PLP)向けやシリコンフォトニクス向け等のボンダー・デボンダー装置の開発・拡販に注力し、一層の受注・売上拡大に取り組んでまいります。

このような状況のもと、当セグメントの当連結会計年度の売上高は19,520百万円(前年度比70.5%増)、セグメント利益は3,759百万円(前年度比134.7%増)となりました。

(LCD事業)

パネル市況を受けた投資需要の低迷は続いたものの、部品・改造需要の掘り起こしに加え、一部大型パネル向け増設需要により一定の出荷・受注を確保しました。今後は、部品等のアフターサービス、引き合いが続く封止用装置需要の捕捉に注力し、受注・売上の積み上げを図ってまいります。

このような状況のもと、当セグメントの当連結会計年度の売上高は911百万円（前年度比55.1%減）、セグメント利益は140百万円（前年度は60百万円の損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,800百万円増加し、23,649百万円となりました。主として、現金及び預金773百万円、売掛金及び契約資産1,736百万円の増加によるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末から369百万円増加し、3,162百万円となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末から187百万円増加し、209百万円となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末から241百万円増加し、351百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末から4,599百万円増加し、27,373百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,811百万円増加し、12,804百万円となりました。主として、電子記録債務627百万円、買掛金1,719百万円の増加、並びに、短期借入金1,100百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,882百万円増加し、3,708百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し、10,861百万円となりました。主として、自己株式の取得244百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、773百万円増加し、3,647百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は、1,526百万円（前年度は1,131百万円の使用）となりました。資金の取得は、主に仕入債務の増加2,337百万円、条件付取得対価に係る負ののれん発生益取消額1,134百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,482百万円（前年度は889百万円の使用）となりました。資金の使用は、主に有形固定資産の取得による支出1,060百万円、条件付取得対価の支払額1,422百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果取得した資金は、1,774百万円（前年度は2,130百万円の取得）となりました。資金の取得は、主に長期借入れによる収入3,194百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

米国外交・通商政策動向や中国経済の足踏みなど、今後も世界経済は先行き不透明な状況が続くと思われませんが、半導体業界におきましては、AI用先端半導体需要拡大に加え、次世代先端半導体パッケージ向け投資意欲の高まりを受け、引続き積極的な設備投資が見込まれます。FPD業界におきましては、LCDの新規投資増加は大きく見込めないものの、IT機器向けディスプレイの有機EL化、AR/VRグラス等の量産計画を踏まえた、マイクロディスプレイや光学系デバイス向け投資の積極化などにより、設備投資は底堅い推移が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、「ありたい姿」実現に向けた第一歩として、中期経営計画（2026年6月期から2028年6月期）を策定いたしました。持続的成長、収益力向上、サステナブル経営推進に向けた基本戦略を展開し、半導体分野・光学系デバイス分野における「グローバルニッチトップのポジション確立」、「次なる成長ドライバー事業の創出」などに尽力してまいります。詳細につきましては、本日公表の「中期経営計画策定に関するお知らせ」をご参照ください。

2026年6月期の連結業績見通しにつきましては、現時点では、売上高25,010百万円（前年度比19.1%増）、営業利益2,509百万円（前年度比19.7%増）、経常利益2,275百万円（前年度比20.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,583百万円（前年度比368.7%増）を見込んでおります。

尚、米国通商政策の影響につきましては、当社グループの売上はアジア圏向けとなっており、直接的な影響はありません。世界経済全体への影響や、サプライチェーン再編などによる間接的影響については、現時点では合理的に見積もることが困難なため、上記の連結業績見通しには反映しておりません。

※次期の業績見通しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

① 利益配分に関する基本方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、株主への剰余金の配当を、業績や成長投資に必要な内部留保の充実などを総合的に勘案し、安定かつ継続的に実施することを基本方針としております。その実施にあたっては、株主資本配当率（DOE）2.5%程度を目安といたします。

② 当期の配当

上記基本方針並びに当社を取り巻く経営環境を総合的に勘案し、期末配当としては、1株あたり普通配当45円を予定しております。

③ 次期の配当

次期の配当に関しましては、上記基本方針に則り、期末に50円の配当を実施する方向で検討しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準により連結財務諸表を作成しております。今後のIFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,873,563	3,647,468
売掛金及び契約資産	9,137,128	10,873,296
電子記録債権	375,304	158,420
半製品	2,140,820	2,892,601
仕掛品	5,043,447	5,451,878
原材料	6,708	6,081
未収入金	255,689	542,282
その他	80,490	80,569
貸倒引当金	△64,623	△3,490
流動資産合計	19,848,529	23,649,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	341,407	410,412
機械装置及び運搬具（純額）	1,259,090	1,137,429
工具、器具及び備品（純額）	58,003	142,509
土地	656,000	656,000
リース資産（純額）	53,303	38,766
建設仮勘定	425,112	777,522
有形固定資産合計	2,792,918	3,162,641
無形固定資産		
ソフトウェア	22,374	17,958
のれん	—	192,036
その他	0	0
無形固定資産合計	22,374	209,994
投資その他の資産		
繰延税金資産	—	275,529
その他	110,458	76,249
投資その他の資産合計	110,458	351,779
固定資産合計	2,925,750	3,724,416
資産合計	22,774,280	27,373,524

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	1,438,499	2,066,068
買掛金	1,886,797	3,605,883
短期借入金	5,800,000	4,700,000
1年内返済予定の長期借入金	133,000	260,750
リース債務	15,998	16,129
未払金	227,209	245,005
未払費用	223,410	311,723
未払法人税等	216,600	567,119
前受金	629,869	593,326
賞与引当金	297,285	276,468
役員賞与引当金	26,500	39,900
製品保証引当金	24,000	34,000
その他	73,717	87,667
流動負債合計	10,992,888	12,804,041
固定負債		
長期借入金	292,000	3,431,250
長期末払金	50,278	64,895
リース債務	43,304	27,175
退職給付に係る負債	150,885	185,032
繰延税金負債	289,325	—
固定負債合計	825,794	3,708,352
負債合計	11,818,682	16,512,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,566	1,620,723
資本剰余金	5,061,914	5,171,776
利益剰余金	4,052,761	4,111,330
自己株式	△34,138	△257,164
株主資本合計	10,591,104	10,646,665
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	147,589	97,308
退職給付に係る調整累計額	214,591	115,636
その他の包括利益累計額合計	362,181	212,944
新株予約権	2,312	1,519
純資産合計	10,955,597	10,861,129
負債純資産合計	22,774,280	27,373,524

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	15,421,653	21,005,577
売上原価	12,184,826	15,589,237
売上総利益	3,236,827	5,416,339
販売費及び一般管理費	2,975,514	3,321,019
営業利益	261,312	2,095,320
営業外収益		
受取利息	7,532	10,219
補助金収入	—	7,067
その他	1,341	1,744
営業外収益合計	8,873	19,030
営業外費用		
支払利息	51,446	89,409
アレンジメントフィー	—	72,500
コミットメントフィー	10,770	14,315
為替差損	21,898	7,250
持分法による投資損失	8,599	27,660
その他	15,030	19,131
営業外費用合計	107,746	230,268
経常利益	162,440	1,884,082
特別損失		
条件付取得対価に係る負ののれん発生益取消額	—	1,134,225
減損損失	—	397,096
特別損失合計	—	1,531,322
税金等調整前当期純利益	162,440	352,760
法人税、住民税及び事業税	151,698	536,529
法人税等調整額	△100,990	△521,510
法人税等合計	50,707	15,018
当期純利益	111,732	337,742
親会社株主に帰属する当期純利益	111,732	337,742

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
当期純利益	111,732	337,742
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	56,750	△50,281
退職給付に係る調整額	180,258	△98,954
その他の包括利益合計	237,009	△149,236
包括利益	348,741	188,505
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	348,741	188,505

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,000	4,215,238	4,194,378	△30	8,859,586
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	1,060,566	1,060,566			2,121,133
剰余金の配当			△253,349		△253,349
親会社株主に帰属する当期純利益			111,732		111,732
自己株式の取得				△349,933	△349,933
自己株式の処分		△213,890		315,825	101,934
新株予約権の発行					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,060,566	846,676	△141,616	△34,108	1,731,517
当期末残高	1,510,566	5,061,914	4,052,761	△34,138	10,591,104

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	90,839	34,332	125,172	1,973	8,986,731
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)				△7,058	2,114,074
剰余金の配当					△253,349
親会社株主に帰属する当期純利益					111,732
自己株式の取得					△349,933
自己株式の処分					101,934
新株予約権の発行				7,398	7,398
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	56,750	180,258	237,009	—	237,009
当期変動額合計	56,750	180,258	237,009	339	1,968,866
当期末残高	147,589	214,591	362,181	2,312	10,955,597

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,510,566	5,061,914	4,052,761	△34,138	10,591,104
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	110,156	110,156			220,313
剰余金の配当			△279,173		△279,173
親会社株主に帰属する当期純利益			337,742		337,742
自己株式の取得				△244,809	△244,809
自己株式の処分		△294		21,783	21,489
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	110,156	109,862	58,568	△223,026	55,561
当期末残高	1,620,723	5,171,776	4,111,330	△257,164	10,646,665

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	147,589	214,591	362,181	2,312	10,955,597
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)				△793	219,520
剰余金の配当					△279,173
親会社株主に帰属する当期純利益					337,742
自己株式の取得					△244,809
自己株式の処分					21,489
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△50,281	△98,954	△149,236	—	△149,236
当期変動額合計	△50,281	△98,954	△149,236	△793	△94,468
当期末残高	97,308	115,636	212,944	1,519	10,861,129

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	162,440	352,760
減価償却費	243,915	318,488
減損損失	—	397,096
のれん償却額	—	96,018
条件付取得対価に係る負ののれん発生益取消額	—	1,134,225
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	62,705	△61,133
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,295	△20,817
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	13,400
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△28,398	10,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△38,239	△108,152
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,080	—
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	14,617
受取利息	△7,532	△10,219
支払利息	51,446	89,409
アレジメントフィー	—	72,500
持分法による投資損益 (△は益)	8,599	27,660
売上債権の増減額 (△は増加)	△674,506	△1,521,421
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,161	△1,163,668
未収入金の増減額 (△は増加)	795,318	△287,082
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,560,891	2,337,250
前受金の増減額 (△は減少)	156,317	△36,529
未払金の増減額 (△は減少)	△159,557	7,133
未払費用の増減額 (△は減少)	△74,292	90,020
その他	31,600	43,214
小計	△1,009,859	1,794,772
利息の受取額	7,532	10,219
利息の支払額	△53,622	△87,887
法人税等の支払額	△75,084	△190,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,131,034	1,526,612
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△885,581	△1,060,229
無形固定資産の取得による支出	△4,748	△3,819
条件付取得対価の支払額	—	△1,422,279
その他	487	3,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△889,842	△2,482,562
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600,000	△1,100,000
長期借入れによる収入	—	3,194,500
長期借入金の返済による支出	△50,000	—
リース債務の返済による支出	△15,869	△15,998
自己株式の取得による支出	△351,087	△244,809
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,193,228	219,520
新株予約権の発行による収入	7,398	—
配当金の支払額	△253,108	△278,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,130,561	1,774,334
現金及び現金同等物に係る換算差額	50,040	△44,479
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	159,724	773,904
現金及び現金同等物の期首残高	2,713,839	2,873,563
現金及び現金同等物の期末残高	2,873,563	3,647,468

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	I J P ソリ ュ ー シ ョ ン 事 業	半 導 体 関 連 事 業	L C D 事 業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,943,778	11,446,222	2,031,652	15,421,653	—	15,421,653
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,943,778	11,446,222	2,031,652	15,421,653	—	15,421,653
セグメント利益又は損失(△)	155,883	1,602,105	△60,296	1,697,692	△1,436,380	261,312

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,436,380千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費△1,436,380千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	I J P ソリ ュ ー シ ョ ン 事 業	半 導 体 関 連 事 業	L C D 事 業			
売上高						
外部顧客への売上高	573,396	19,520,806	911,374	21,005,577	—	21,005,577
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	573,396	19,520,806	911,374	21,005,577	—	21,005,577
セグメント利益又は損失(△)	△222,310	3,759,962	140,934	3,678,585	△1,583,265	2,095,320

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,583,265千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費△1,583,265千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	1,765円56銭	1,753円97銭
1株当たり当期純利益	19円40銭	54円62銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	19円11銭	54円20銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2024年6月30日)	当連結会計年度末 (2025年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	10,955,597	10,861,129
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,312	1,519
(うち新株予約権)(千円)	(2,312)	(1,519)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,953,285	10,859,610
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	6,203,858	6,191,457

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	111,732	337,742
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	111,732	337,742
普通株式の期中平均株式数(株)	5,759,580	6,183,395
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	86,901	47,782
(うち新株予約権(株))	(86,901)	(47,782)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	2024年2月20日取締役会決議に基づく新株予約権 新株予約権の数 6,530個 (普通株式 653,000株)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。